AML 初発・進行期
AML 201　induction (DNR)

患者ＩＤ：　@PATIENTID　　1　コース目

患者氏名　：　@PATIENTNAME　　１ｺｰｽ：14日　　目標：１～２コース

身長(cm)	体重(kg)	体表面積(㎡)
$HEIGHT01_Doc	$WHEIGHT01_Doc	#VALUE!

使用薬剤： ダウノルビシン（DNR）：ダウノルビシン注　20ｍｇ／Ｖ
シタラビン（Ａra-C）：シタラビン注 20mg／A／1mL，200mg／A／10mL

※ HBc抗体測定し、陽性ならTaqMan HBV検査までおこなうこと
※ 日和見感染症に注意。胃潰瘍（PPIなど）、口内炎、便秘の予防について考慮すること
※ 結核の既往症を有する患者には、isoniazid(INH)の予防的投与を行う。

薬　剤	投与量	計算値	投与量(mg)	投与日
ダウノルビシン	50 mg/㎡	#VALUE!		１～５
シタラビン	100 mg/㎡	#VALUE!		１～７

<< タイムスケジュール >>

※記載している時刻は例です。当日の投与予定時刻ではありませんのでご注意ください。

開始日(Day1)；　**1月1日**　(金)

	PICC①	PICC②				
0時00分	①		生理食塩液 50mL 15分で点滴静注	＋	ｸﾞﾗﾆｾﾄﾛﾝ １Ａ	
0時15分	②		生理食塩液 100mL 30分で点滴静注	＋	**ダウノルビシン注**	**0mg**
0時45分	③		生理食塩液 50mL フラッシュ			
1時00分		④	生理食塩液 500mL 24時間で点滴静注	＋	**シタラビン注**	**0mg** 0.0ml

Day　2～5　　**1月2日**　(土)　～　**1月5日**　(火)

0時00分	①		生理食塩液 50mL 15分で点滴静注	＋	ｸﾞﾗﾆｾﾄﾛﾝ １Ａ	
0時15分	②		生理食塩液 100mL 30分で点滴静注	＋	**ダウノルビシン注**	**0mg**
0時45分	③		生理食塩液 50mL フラッシュ			
1時00分		④	生理食塩液 500mL 24時間で点滴静注	＋	**シタラビン注**	**0mg** 0.0ml

Day　6～7　　**1月6日**　(水)　～　**1月7日**　(木)

0時45分	①		生理食塩液 50mL 15分で点滴静注	＋	ｸﾞﾗﾆｾﾄﾛﾝ １Ａ	
1時00分		②	生理食塩液 500mL 24時間で点滴静注	＋	**シタラビン注**	**0mg** 0.0ml

Day　8　　**1月8日**　(金)

1時00分		①	生理食塩液 50mL フラッシュ			

REFERENCE

Shigeki Ohtake,Shuichi Miyawaki,Hiroyuki Fujjita et al BLOOD 2011；117：2358-2365
Randomaized study of induction therapy comparing standard-dose idarubicin with high-dose daunorubicin in adult patients with previously untreated acute myeloid leukemia:the JALSG AML201 Study

2011年7月度化学療法プロトコール審査委員会承認：2011年7月11日　更新:2016年2月8日